

## 新発田市 令和3年度 第12回定例記者会見

1 日 時 令和4年3月9日(水)午前 11 時～

2 場 所 ヨリネスしばた501・502会議室

3 内 容

### 【市長発表項目】

- 新発田産大粒越後姫「姫のてまり」誕生
- 今・得キャンペーン2022(宿泊プラン)
- 今・得キャンペーン2022(飲食プラン)
- 新発田産農畜産物の輸出状況について[配布資料なし]

### 【その他】

- 「アナタの中学校はイマ!?～三十路、母校へ帰る～」YouTube で動画配信
- 新発田の春まつりの開催
- 『学び舎に伝えらえた宝もの』展の開催

### あいさつ

- 季節も春めいてまいりました。経済の反転攻勢をかけるのに相応しい季節になってきたと思います。
- さて、そのような中で、ご案内の通り、まん延防止等重点措置が6日で解除されました。解除は予想しておりました。これ以上延長すると新潟県の経済がもたないという状況なので解除してくれるだろうと思っていましたが、心配していたのは、県独自の特別警報や警報が発出されはしないかということでした。
- 警報を出すということは、サイレンを鳴らしながら出歩いても良いと言っていることに等しい。これではいくらまん延防止等重点措置が解除されても経済へのダメージが回復できないと思っていましたが、今回は警報等の発出もないとのことなので、県も経済に舵を切ったのだと思います。

- 私どもは3月7日から、今・得宿泊キャンペーンをスタートさせていただきました。3月15日からは、今・得飲食キャンペーンをスタートさせます。
- いずれにせよ、アクセルとブレーキを踏み分けるということです。半クラッチとか、アクセルとブレーキを同時に踏むことは行ってきませんでした。アクセルとブレーキを使い分けてきました。
- ただし、コロナが収束したわけではないので、ブレーキは踏みませんが、常に足を添えておきたいと思っています。警戒を怠ることはできません。そのうえで、アクセルをしっかり踏んで新発田の経済の後押しをしたいと考えております。
- 昨日開催した「北京 2022 パラリンピック冬季競技大会パブリックビューイング」には、急遽の開催にもかかわらず、大勢の方にご来場いただきありがとうございました。
- 出来島桃子選手が北京で頑張っております。まだ、良い結果は出ていませんが、3種目が残っておりますので、乞うご期待と思っています。しかし、5大会出場ということですのでレジェンドと言っても良いのではないのでしょうか。彼女の頑張りを日本から応援したいと思います。

**それでは、会見項目を説明いたします。**

**最初に、新発田産大粒越後姫「姫のてまり」誕生についてです。**

- 「越後姫」は、当市・紫雲寺地区などで試験的に栽培され、平成8年に品種登録されました。まさに新発田が産みの親であり、育ての親でもあります。

これから旬を迎える越後姫ですが、65軒の農家が丹精込めて栽培しています。市、生産農家、JA、流通機関、市内スーパー等が、タッグを組み、「チームしばた」の力を集結し、満を持して特大大粒の越後姫を新ブランドとして3月25日から販売いたします。

- 新ブランドは「城下町しばた」にちなみ、大切に育てられたお姫様の愛用

品をイメージして、その大きさから「姫のてまり」と命名いたしました。「姫のてまり」は **45** グラム以上の **4L** サイズで、3月の下旬から4月下旬までの1か月間と、短期間しか収穫できない大変貴重なものであります。販売にあたっては特製の3個入り容器に専用パッケージで、価格は3個入り **1,200** 円となります。期間中は、市内のスーパーマーケットや直売所のみで販売することとしております。

○本日は皆様にも「姫のてまり」をご用意いたしましたので、ご試食ください。そのまま、手にもって頬張るのも美味しいですが、あえてお皿に盛りつけてフォークとナイフで召し上がっていただくと、より一層、とろけるような甘さと芳醇な香りをお楽しみいただけるとと思います。

○今日は越後姫を作っていたいでいる農家の方にもお出でいただいておりますので、生産者からも直接お話をさせていただきたいと思っております。それではお願いします。

#### 【越後姫生産者スピーチ】

○この度は越後姫の **PR** を市が応援してくれることについて、生産者を代表してお礼申し上げます。生産者が一生懸命作った期間限定の越後姫を食べてください。「姫のてまり」というかわいい名前を付けていただき、イチゴも喜んでおります。

○今後も実行委員会で様々なイベントを企画して新発田を盛り上げ、新潟県で一番の産地にしていきたいと思っております。そして全国区のイチゴにしていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

○越後姫生誕の地はこの新発田市です。そして、この品種を開発したのも新発田の方です。つまり、越後姫は父も母もこの新発田になるわけです。「越後姫といえば新発田」「新発田といえば越後姫」と皆さまから思っただけのブランドとなるよう精一杯、市を挙げて取り組んでまいります。

## 次に、今・得キャンペーン2022(宿泊プラン)についてです。

- 新潟県においては、まん延防止等重点措置が3月6日に解除されました。これにより、飲食店等の営業時間短縮や酒類の提供禁止などの要請も解除されました。新発田市では一刻も早い宿泊業の需要喚起策として、県内に早い3月7日から「今・得キャンペーン宿泊プラン」を実施いたしました。  
月岡温泉では、新発田牛や越後姫などを召し上がっていただけるプランなども用意されており、早春の新発田への旅、新発田の自慢の食を楽しんでいただけるものと考えております。
- このプランは、月岡温泉をはじめ、市内のホテルや旅館の宿泊料金から、**5,000円**を上限として、半額を割り引くものであり、大変お得なものとなっております。3月7日から4月30日までの、期間限定プランとなっておりますので、この機会に、コロナ禍で溜まった体や心の疲れを温かいお風呂で流し去り、おいしい料理でリフレッシュしていただき、お帰りの際には市街地にも足を延ばし、「新発田牛」や「姫のてまり」などもお買い求めいただきたいと思っております。
- もちろん、感染症対策には万全を期しており、県外からお越しの際は、まん延防止措置が解除されている地域に限り、また、PCR等による陰性証明の提出などを条件としておりますので、安心してお越しをいただきたいと思っております。
- 月岡温泉のお湯が良いことはもうご承知だと思っております。国内トップクラスの硫黄泉であり、美肌の湯、美人の湯として有名です。そして近年は温泉街の魅力づくりに取り組み「歩いてみたくなる温泉地」として、地酒や米菓、米粉、チョコレート、和菓子などをテーマとした店舗も人気を集めております。この機会に是非、月岡温泉、そして新発田の街にお越しをいただき、春の息吹を感じていただきたいと思っております。
- 今日は月岡温泉旅館協同組合の皆さんにもお出でいただいておりますので、キャンペーンについて宣伝していただきたいと思っております。それではお願いします。

### 【月岡温泉旅館協同組合スピーチ】

- 私どもがどれだけ苦境かということを知っていただきたいです。まん延防止等重点措置となった1月、2月は、コロナ前のお客様に対し、70パーセント減、となりました。同時に月岡温泉の全ての飲食店が、時短ではなく完全休業いたしました。今ほど市長がご説明された街歩きの各店舗、土産屋も全て閉店しました。月岡温泉がゴーストタウンのような印象を受けるほどの大打撃となる状況でした。
  
- 皆様がよく観光業だけとお話されますが、旅館業というのは取引業者様と顧客の裾野が広いのです。地元新発田市の魚屋、八百屋、青果店など、いろいろな企業と付き合いがある中で、この2ヶ月間、お客様が70パーセント減ったということは、これらの企業の売上も70パーセント減ったということになります。
  
- 地域経済が地盤沈下を起こしかけていたときに、新発田市が県下で一番に今・得キャンペーンという形で取りかかっていたことは、私達にとって、ものすごい希望になり、励みになると思っております。
  
- こういう状況なので感染症を心配される方が非常に多いですが、月岡温泉は国交省が行ったG o T o トラベルの際に、感染症対策取組宣言をしっかりと制定し、各旅館のスタッフが対策を行っております。今回の今・得プランは県外からのお客様も対象となっているので、PCR検査やワクチン接種証明を確認することにより、安心安全に楽しんでいただけます。
  
- 経済の反転攻勢に月岡温泉も一丸となって取り組んでまいります。

## 次に、今・得キャンペーン2022(飲食プラン)についてです。

- 宿泊業の皆様同様に、飲食店等の皆様にも、大変な辛抱をしていただきました。間もなく年度末、そして新年度を迎え、進級、進学、入社のお祝いや、歓送迎会など、多くのイベントが開かれ、人が動く時期となります。市内の飲食店等を是非、ご利用いただきたく、市としても全力で支援してまいります。
- 3月15日から、「今・得飲食プラン」を再開します。**4,000円、6,000円、8,000円**の定額コースについて、それぞれ、**1,000円、2,000円、3,000円**を割り引くキャンペーンです。さらに、今回は、**8,000円**コースを「2次会付きコース」として販売します。このプランは、スナックやバーで利用できる**1,000円**券が付いており、2次会もお得に開催できるものとなっています。対象となるスナックなどはすべて、感染防止対策を講じている認証店のみとなっており、安心してご利用いただきたいと思っております。  
さらに、**4,000円**プランでは、お一人さまでの予約も可能として、仕事帰り、美味しいものを食べて、軽く飲んで帰ることを楽しみにしているサラリーマンの皆様にも気軽にご利用いただきたいと考えております。
- その他にも、飲食後のタクシーや運転代行の利用代金の一部を助成する「ナイトタクシー券」の配布や、既に3月1日から開始しており、多くの皆様にご利用いただいております「今・得テイクアウトプラン」についても、飲食プランとの併用が可能です。
- 飲食店には時短要請等による協力金が支払われておりますが、これは一時的なものでしかありません。そして何より、繁華街に賑わいが無いと、まちに元気が生まれません。飲食店への支援はもちろんですが、是非、市民の皆様にも、人生での大事なイベントを演出するために、いつもとは違う食事を、大事な人、特別な人とともに味わっていただき、元気になってほしいと願っております。

## 最後に、新発田市農畜産物の輸出状況についてです。

- 今年 2 月、新発田牛のサーロインとロースの高級部材 50 キロをニューヨークにサンプルとして輸出いたしました。ニューヨークでは新発田産米をご利用いただいている飲食店 6 店舗を含め 30 店舗に試食をお願いしているところですが、大変反応が良く、すでに 25 頭分の注文をいただくことができました。
- ニューヨークには、すでに九州産の和牛が多く輸出されていますが、和牛は大変人気があり全体的に供給が追いつかない状況となっているようです。これに加え、雪国で飼育され、雪室で熟成された和牛であることが多くの飲食店で評価され、注目されていると伺っております。
- 昨年 3 月に県内 2 番目の地域ブランドとして承認されたばかりの新発田牛であり、まずは国内での知名度向上を果たすべきとのアドバイスもいただきましたが、200 を優に超える国内ブランドの中で知名度を上げることは並大抵のことではないと考え、輸出に踏み切ったところでもあります。世界経済の中心地であり、流行の発信拠点であるニューヨークにしっかりと根を張り、ブランドを築いてまいりたいと考えております。
- 次に越後姫の試験輸出についてであります。越後姫は果肉が柔らかく、匂いたつ芳醇な香りが大きな特徴となっていますが、果肉の柔らかさがゆえに、傷つきやすく、長距離輸送ができませんでした。しかし、近年、「ゆりかご」という運搬容器が開発されたことで、輸送も容易になってきました。当市では今月末に新潟県との共同事業で、シンガポール向けに越後姫 10 キロを輸出して、現地のスーパーマーケット「いろはマート」で試験販売を計画しています。これがうまくいけば、来年度は本格的な輸出として、まずはシンガポールや香港へ、そして、「殿様献上米」や「新発田牛」同様、世界経済の中心、ニューヨークへ輸出することで世界的なブランドに育ててまいりたいと考えています。
- 今後も手を緩めることなく、新発田牛、そしてこの度デビューを果たした「越後姫・姫のてまり」の輸出なども進めることで、農家の皆様の所得向上を図ってまいります。
- 次に新発田産米の輸出についてであります。平成 29 年度からワッカジャ

パンと連携して、新発田産米を「新発田の殿様献上米」として輸出に取り組んできました。今年は、約 **250** トンをアメリカ・ニューヨークはじめ、ハワイ、香港、シンガポール、台湾、ベトナムと 6 都市に輸出しています。

○海外でもコロナウイルス感染症の拡大で外食店は大きな打撃を受けていますが、個人向け販売が好調であり、コシヒカリの輸出量が大幅に伸びています。

そして、来月、イギリス・ロンドンに向け、市場調査をかねてコシヒカリ **12** トン、こしいぶき **12** トン、合計 **24** トンを輸出することとなりました。

○日本では、人口減少や食嗜好の変化、そしてコロナ禍による外食産業不振の影響で年間 **10** 万トン以上の需要が減少しており、米価も大幅に下落していますが、海外には、私の想像を超える大きなマーケットがあり、高品質な新発田産米は世界各国、各都市で受け入れられるものと改めて感じたところでもあります。

○新発田産米の販売を手掛けているワッカジャパンは、北海道の「ゆめピリカ」をはじめ、「つや姫」「ひとめぼれ」など他県のブランド米も輸出をしておりますが、その中でも、当市が行っている「新発田の美味しいお米コンテスト」入賞者に限定したコシヒカリの輸出や、JA 北越後をはじめ、市内 3 事業者による保管体制などを評価いただき、新発田産米であれば、新たな販路を開拓できると、試験販売に新発田産米を選んでいただいたと伺っています。

○アジア地域への輸出を足掛かりとしてスタートした米輸出ですが、5 年間で北米、そして、欧州へと、どんどん市場が広がっています。高品質にこだわり、「新発田で食べるご飯と同様の鮮度で！」と冷蔵保管や現地精米などの付加価値や、冷涼な水源と有機肥料の使用、熟練した農家による栽培などのブランドストーリーを伝えることで、まだまだ、輸出量も伸びていくものと確信しています。

○一方で、国内の需要減少を黙ってみているわけにもまいりません。まずは一度、新発田のお米を食べてほしい。食べれば必ず納得していただける。このような思いから、昨年、当市との間で防災協定を締結しました神奈川県海老名市の学校給食用にいかがでしょうかと、当市のお米をお送りしたところ、大変好評をいただき、正式にお使いいただくこととなりました。



令和4年度からは、新発田の美味しいお米コンテストの上位入賞者が生産した、新発田で一番美味しいお米を提供する予定としており、子どもたちに、本当においしい米の味、香りを伝え、それを生産する産地、新発田へもお越しいただけるよう取り組んでいるところです。

○今後も、当市との縁を持つ団体へのセールスなどを積極的に行うことで、新発田産米の国内需要を引き上げていきたいと思っております。

○皆様に「殿様献上米」「越後姫」「新発田牛」「日本酒」という新発田自慢のブランド農畜産物を揃ってお届けできる日も目前に迫っていると感じております。

○城下町新発田に、殿と姫がそろい踏みとなり、お酒や肉が宴に彩を添えます。それぞれの食材が、食の循環という大きな輪の中で互いに結び合い、魅力あふれるストーリーを紡いでいきたいと思っております。

○この魅力に、一人でも多くの方に気付いていただけるよう、一層力を注いでまいります。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますよう、よろしく願いいたします。